

「さよならオワコン」

あけましておめでとうございます。今年もよろしくお祈りします。

山形に来て、7年が経過しました。みなさんにとって、7年間は、長い？短い？でしょうか？僕にとって、この7年間は色々な出来事があり、濃い時間でした。

地域おこし協力隊として、川西で過ごした3年間。会社員として過ごす4年間。どちらも同じ人間が過ごす時間なのに、中身は少し違います。

協力隊の時に、よく考えていたのは、自由に暮らしたいはずなのに、なぜ、自由な暮らしは不自由に感じるのか？ということです。

自由人だとか定職に就けないとか、昔から言われてきたわけですが、根本的に社会の一般概念とズレていることは、なんとなくわかっていました。こう言っても誰も信じないのですが、僕は自分勝手に何もしないことが「自由」だと思わず、仕事をしたくないから定職に就きたくないわけではないのです。むしろ、好きなこと、興味のあることなら、トコトン、仕事であっても、なくてもしたいわけです。よく言えば凝り性。悪く言えば社会性がない不器用ということでしょう。

新年、早々なぜこんな暗い話をするのか？それは、自分が成長しなければ、追い求めなければ、ほしいものは何も手に入らないと感じているからです。

2018年になり、人類の歴史もそこそこあるわけなのに、相変わらず戦争はなくなるしないし、犯罪もなくなるしないし、ミサイルは飛んでくるし…圧倒的に不都合な事実があって、進化も退化もありゃしない。こんな知的かつ理性的に考える必要すらない出来事が、いまだに起きている現実に呆れてしまいます。だからこそ、自分のことは自分で切り拓かなければ、ただただ、意味不明な出来事と、同じ空気を吸わされて、流されて生きていくだけではないでしょうか？

そう考えれば、裸になって「WAR IS OVER」と言ったジョンレノンや、「爆弾落とすな！」とギターで訴えたジミヘンは極めて、当たり前のことを言った人たちということになります。でも、世間はそういう人を注目します。おそらく、世の中は、圧倒的に普通な人のほうが少ないのです。いや、むしろ普通な人なんていないのです。だからこそ、自分のやりたいことが出来るように努力する。こんな純なことないのでは??

新年早々、今年の抱負のごとく、自分に鞭打って疲れました(笑) 言葉足らずな文章ですが真実である文章で、この7年間は振り返ると、山形に来てよかった、来なかった自分がいたら、その自分は世間知らずのオワコンだった。経験は人を成長させる。これが人生の濃さでしょう。